

In白杵市野津町 おおいた遺産ウォーキング大会

下藤地区抄込墓地[大分県指定史跡]

完全な形で残る国内最大規模のキリシタン墓地。
16世紀末期から17世紀初頭にかけて造られた。
江戸時代の禁教政策のなかでも破壊されずに残った、
全国でも極めて貴重な遺跡。



安政橋[白杵市指定有形文化財]

万延元年(1860年)に完成。明治期までは三重郷と白杵
城下を結ぶ主要道路。歩道とともに水路も併設。
歴史的、美術的、構造的にも虹澗橋に並ぶ橋であり、貴重
な文化財。

明治橋[大分県指定有形文化財]

供用中の道路用鋼桁橋では、国内最古。明治35年
(1902年)に架設。
当時、大分県では石橋が主流のなかイギリスから輸入
した鋼材を使用し、架設。



風連鍾乳洞[国指定天然記念物]

外気の侵入が少なく、風化作用されず、純白に近い光沢
を放ち続けている閉塞型の鍾乳洞。
競秀峰は高さ10m、周囲が16mで100本以上の石筍群が
そびえ、洞内一番の見どころ。

吉四六さんの墓[白杵市指定有形文化財]

とんち話で有名な「吉四六さん」のモデルとなった初代・
廣田吉右衛門のお墓。
廣田家は、江戸時代初期から代々庄屋を務め、苗字帯刀
を許された由緒ある家柄。

